

ニコンイメージングセンターの利用における注意・禁止事項

- ① 当センターは機器共用設備です。自分の研究室にいるとき、少なくとも同様の緊張感をもって利用してください。
- ② 利用終了後は利用状況を利用記録ソフトウェアに記入し、対物レンズやフィルターブロックは、デシケータから出しただけでもご記入ください。また機器の不具合や物品の破損がありましたら、速やかにご連絡ください。
- ③ ガラス基板や培地など消耗品は、利用者をご準備ください。同様に使用後はお持ち帰りください(特にガラス類)。
- ④ 利用者のサンプル準備のためならば、培養室の設備を利用しても構いません。ただし当センターの各実験室の遺伝子組み換えレベルは **P1** です。これを超えたレベルでの利用は一切認めておりません。
- ⑤ 動物実験を行いたい場合は、必ずスタッフに事前にご相談ください。
- ⑥ 観察で毒劇物の使用を希望する場合、ごく微量でも必ず事前に許可を得て、**廃液も含めた試薬を毎回全て持ち帰ってください。**当センターには保管庫がないため、保管・処分は一切できません。
- ⑦ パソコンは、機器とセットで「メーカーから借りている」ものもあります。ソフトウェアを勝手にインストールしないでください(隣の研究室に機器を借り、その際に無許可でソフトをインストールするようなことは、絶対にありえないと思います)。
- ⑧ 当センターは、原則として平日の**9時～18時**に機器提供を行っております。この時間帯の機器利用は、予約システムで自由に行って構いませんし、終了時刻が18時～翌朝でも、次の利用者が来る前に片付けますならば、問題ありません。原則として、**土曜・日曜・祝日は利用できません**(そもそも、研究所に入れません)。ただし時間内でも、以下のような場合は事前にお問い合わせください。
 - ・ 24時間を大きく越える長時間タイムラプス観察
 - ・ 観察のため、自分の研究室から別の機器を設置して使用する場合

オープンファシリティ: <https://www.gfc.hokudai.ac.jp/openfacility/>

- ⑨ 利用料金は「実際の機器利用」に対して生じますが、以下の場合には利用料金を課しますので、ご注意ください。
 - ・ 利用開始時刻の24時間前以降の取消しは、本来の予約時間を課金の対象とする。予約を行いながら、無連絡で来なかった場合も同様である。
 - ・ 解析利用のみでもシステムから予約を行った場合は、課金の対象とする。
 - ・ 予約の取消しが相次ぐ場合は、最初の取り消しから1か月の間で3回めからは、課金の対象とする。
- ⑩ 使用の**2週間以内**に、データファイルをお持ち帰りください。ハードディスク容量がそれほど大きくないため、この期間を大きく超えてファイルが存在する場合、またユーザーフォルダー以外(特にデスクトップ)にデータがある場合は、直ちにユーザーへの連絡なしで削除を行う可能性があります。一時的な場合はその限りではございませんので、ご相談ください。
- ⑪ 学会発表や論文作成を行う際は、「北海道大学ニコンイメージングセンターにて観察」と記載したり、謝辞で触れてくださったりした上で、その旨をご連絡ください。そして可能ならば、論文の別刷りを一部ご提出ください。謝辞では「ニコンイメージングセンター」への謝意ということで十分ですので、スタッフの名前は載せなくて構いません。論文作成の際に、機器名や謝辞の記載方法がご不明の場合は、いつでもお問い合わせください。

複数の注意事項、またはセンターの存続に関わりかねない重要な注意事項(④～⑦)は1つでも、守られない場合は、一切の利用許可を即座に取り消し、該当する研究者のみならず、その研究室のすべての利用許可を2度と認めない場合があります。不明の点などがございましたら、お気軽に担当者にご相談ください。

(最終更新:2017/04/01)